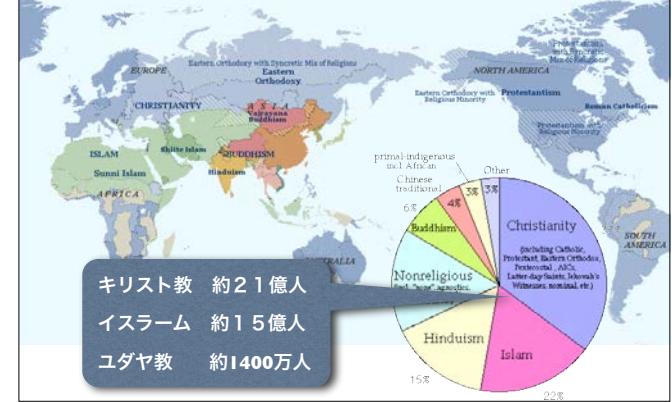


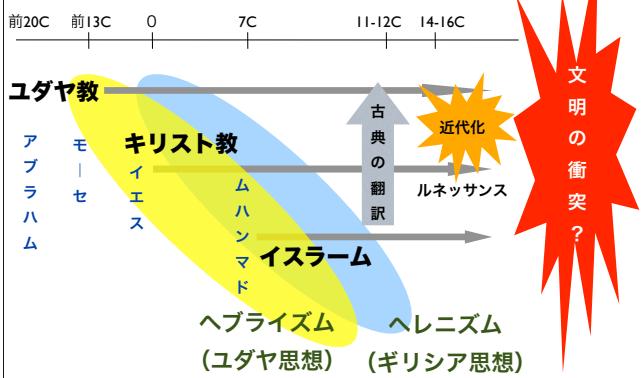
キリスト教の基礎（3）

キリスト教の歴史的展開

世界の中のキリスト教



一神教の文明論的系譜



キリスト教の起源

- イエスの十字架（30年頃）
- ユダヤ教の一派として活動
- パウロをはじめとする宣教者によって、ギリシャ・ローマ世界に、イエスのメッセージが伝達される。
- 教会の形成——ユダヤ教からの分離

多様な教会形成の歴史

西方キリスト教世界

ローマ・カトリック教会
↓
英國国教会（聖公会）
プロテスタント教会
ルター派（ルーテル）教会
改革派教会・長老派教会
会衆派教会
バプテスト教会
メソジスト教会、等々

東方キリスト教世界

東方正教会
ギリシア正教会
ブルガリア正教会
ルーマニア正教会
セルビア正教会
ロシア正教会
日本正教会、等々

日本におけるキリスト教

- カトリック
 - 1549年、フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸。
- 開国以降の変化
 - 1854年、開国とともに、各教派の宣教師の来日が始まる。
 - 1873年、禁制の高札を撤去して布教を默認。
 - 1889年、大日本帝国憲法の発布。条件つきながら信教の自由が保障されたので、これ以降キリスト教各派の布教は本格化する。

近代におけるキリスト教の影響

- 知識人を中心に影響を与えた。
 - 作家：北村透谷、国木田独歩、島崎藤村、有島武郎、正宗白鳥
 - 社会主義運動家：片山潜
- 明治時代後半から大正時代にかけては、プロテスタント系の社会運動が大きく発展した。
 - 貧民救済に献身した救世軍の山室軍平
 - 廃娼運動や足尾鉱毒問題に尽力した作家の木下尚江
 - 少年感化や監獄改良運動を推進した留岡幸助
 - 初期社会主义運動の指導者の一人である安部磯雄
 - 民本主義を提唱した吉野作造
 - 労働組合運動や生活協同組合を指導した賀川豊彦
 - 婦人運動の市川房枝
 - 救らい運動に献身した岩下壯一（カトリック）
- 大正デモクラシーの展開に大きな影響を及ぼした。

国家とキリスト教

- 不敬事件

(1891年)



内村 鑑三



井上 哲次郎

*「教育と宗教」
の衝突論争

『教育ト宗教ノ衝突』 (1893年)

上来論述せるが如く、耶蘇教の東洋の教に異なる要素は四種なり、第一、国家を主とせず、第二、忠孝を重んせず、第三、重きを出世間に置いて世間を軽んず、第四、其博愛は墨子の兼愛の如く、無差別の愛なり、(125頁)

戦争との関係

- 非戦論の形成

- 内村は日清戦争を「義戦」として支持したが、日露戦争に対しては非戦論の立場から反対
- 【参考】キリスト教の戦争類型
 - 絶対平和主義、正戦 (just war) 論、聖戦 (crusade/holy war) 論

非戦論

「若し戦争はより小さな悪事であって世には戦争に勝る悪事があると称へる人がありまするならば其人は自分で何を口ふて居るのかを知らない人であると思います、戦争よりも大なる悪事は何でありますか、……悪しき手段を以て善き目的に達することは出来ません、……平和は決して否な決して戦争を透うして来りません、平和は戦争を廢して来ります、……」(内村鑑三『非戦論』岩波書店、1990年、63-64頁)。

東アジアにおけるキリスト教

- 中国

- キリスト教の「本色化運動」(19世紀から20世紀初頭)
- 公認宗教：道教、仏教、イスラーム教、プロテスチント、カトリック
- 中国基督教三自爱国運動委員会、中国基督教協会（プロテスチント）、中国天主教爱国協会（カトリック）そして非公認の家庭教会
- 朝鮮半島
 - 反日抵抗運動（戦前）、軍事独裁政権への抵抗運動（戦後の韓国）の担い手としてのキリスト教
- 韓国：キリスト教徒が全人口の25～30%を占める。